

2024年度

2024年4月1日～2025年3月31日

環境経営レポート

2025年8月1日

 有限会社 岩本商会

目次

環境経営方針	1
1. 組織の概要	2-1
	2-2
2. 当社の環境負荷特性	3
(1) 二酸化炭素排出量の内訳	3
(2) 廃棄物排出量の内訳	3
(3) 水使用量の内訳	3
3. 環境経営目標	4
4. 環境経営計画	5
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	6-1
	6-2
6. 環境経営目標の実績とその評価	7
(1) 二酸化炭素排出量の削減	7
(2) 廃棄物排出量の削減	8
(3) 水使用量（上水）の削減	9
(4) グリーン購入の推進	9
(5) 収集作業における完全収集の徹底	9
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	10
(1) 二酸化炭素排出量の削減	10
(2) 廃棄物排出量の削減	10
(3) 水使用量（上水）の削減	10
(4) グリーン購入の推進	10
(5) 収集作業における完全収集の徹底	10
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	11
9. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無	12
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12
11. その他(雨水利用など)	13
12. 苦情（カラス被害）	14
13. ルール違反ごみによる取残し	14
14. 車載AED・AED講習	15

環境経営方針

有限会社 岩本商会は、一般家庭ごみ収集・運搬業務を通じ、人々の清潔で安全な生活環境づくりに努め、地球環境に配慮した行動を全社員一丸となって取り組むとともに、環境経営の継続的改善を実施します。

1. 企業価値の向上に努めます。
2. 有限会社 岩本商会の事業活動に伴う環境負荷の低減を目指して、次の項目を重点的に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量を削減します。
 - ・収集運搬車両のエコドライブによる燃料の削減
 - ・電気使用量の削減
 - ②水使用量を削減します。
 - ③廃棄物を削減し、リサイクル活動を推進します。
 - ④事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑤収集作業における完全収集に努めます。
 - ・収集運搬時の事故防止・収集ミス防止・ごみ飛散防止
3. 作業の安全に心掛け、地域の環境衛生に最善の努力をします。
4. 環境関連法令を遵守します。
5. 環境経営レポートを作成し、環境取り組みの状況を公表します。

2007年10月2日 制定日

2020年7月1日 改定日

有限会社 岩本商会
代表取締役 岩本辰男

1.組織の概要

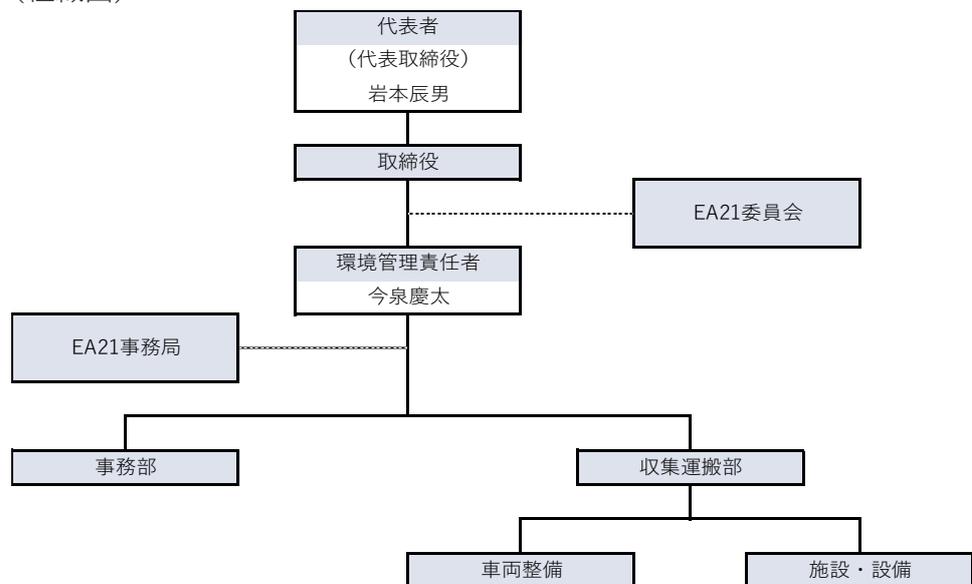
- (1)事業所名 有限会社 岩本商会
代表取締役 岩本辰男
- (2)所在地 (本社) 〒813-0062福岡市東区松島3丁目5-17
(原田営業所) 〒812-0063福岡市東区原田2丁目12-7
(駐車場) 〒812-0062福岡市東区松島2丁目3
- (3)環境管理責任者 今泉慶太
担当者氏名 二村真紀
連絡先 TEL 092-611-1656
FAX 092-611-1936
Eメールアドレス iwamotosyukai3517@sat.bbiq.jp
- (4)事業内容 一般廃棄物収集運搬業

(5)事業の規模

	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量 (t)	10,588	10,274	10,068
売上高 (万円)	福岡市との契約による		
従業員数 (人)	32	30	30
床面積 (㎡)	842	842	842

- (6)法人設立年月日 1979年3月12日
資本金 500万円
- (7)EA21認証・登録範囲 対象範囲：全組織
事業活動：一般廃棄物収集運搬業

(8)EA21実施体制 (組織図)



(9)委託内容

委託の種類 :一般廃棄物収集運搬

委託番号 :委託 第23号

委託年月日 :2024年4月1日

委託有効年月日 :2025年3月31日

廃棄物の種類 :一般廃棄物

※廃棄物処理法第七条施行規則第二条に基づく一般廃棄物
収集運搬業の許可を要しない者に該当する。

(10)施設などの状況

車 両	台 数
3バ ッカ-車	4
2バ ッカ-車	2
軽トラック	2
軽自動車	1

(11)廃棄物処理料金

福岡市の委託料金に準ずる。

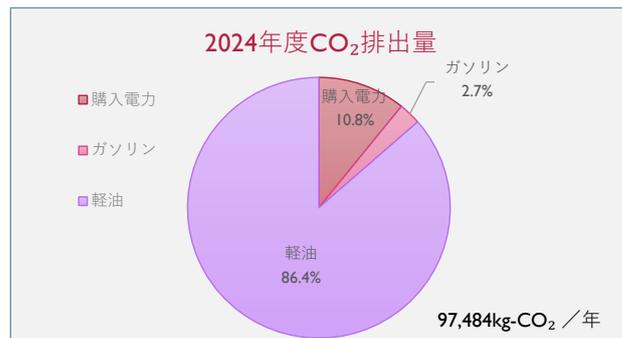
2.当社の環境負荷特性

- 当社の最大の環境負荷は二酸化炭素排出量で、収集運搬車両で使用する軽油が86.4%を占めています。
- また、水使用量(上水)と併せて雨水(40%)を活用しています。

(1) 二酸化炭素排出量の内訳

項目	単位	2022年度(基準年) (2022年4月～2023年3月)		2023年度 (2023年4月～2024年3月)		2024年度 (2024年4月～2025年3月)	
		排出量	割合	排出量	割合	排出量	割合
購入電力	kg-CO ₂	10,652	10.6%	10,662	10.8%	10,551	10.8%
ガソリン	kg-CO ₂	2,613	2.6%	2,527	2.6%	2,668	2.7%
軽油	kg-CO ₂	87,609	86.8%	85,212	86.6%	84,265	86.4%
合計	kg-CO ₂	100,874	100.0%	98,401	100.0%	97,484	100.0%

※購入電力の排出係数は、九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.392kg-CO₂/kWh)を適用



(2) 廃棄物排出量の内訳

項目	単位	2022年度(基準年) (2022年4月～2023年3月)		2023年度 (2023年4月～2024年3月)		2024年度 (2024年4月～2025年3月)			
		排出量	割合	排出量	割合	排出量	割合		
一般廃棄物	資源ごみ	再生利用	kg	271.7	35%	267.3	36%	518.4	53%
		熱回収	kg	484.2	63%	466.1	63%	442.9	45%
	その他可燃・不燃ごみ	再資源化等	kg	17.1	2%	8.3	1%	15.9	2%
		一般廃棄物合計	kg	773.0	100%	741.7	100%	977.2	100%
産業廃棄物	汚泥	再生利用	kg	400.0		400.0		400.0	

汚泥：適正な手続きで年4回処分

(3) 水使用量の内訳

項目	単位	2022年度(基準年) (2022年4月～2023年3月)		2023年度 (2023年4月～2024年3月)		2024年度 (2024年4月～2025年3月)	
		使用量	割合	使用量	割合	使用量	割合
上水	m ³	367.0	65%	311.0	61%	322.0	60%
雨水	m ³	199.0	35%	199.0	39%	214.0	40%
合計	m ³	566.0	100%	510.0	100%	536.0	100%
雨水断水日(少雨により雨水タンクの使用ができない)		49日		16日		0日	

3.環境経営目標

●環境経営目標は2022年度実績を基準年として、2%ずつ（電気使用量は1.0%）削減することを目標とします。

環境経営目標	単位	事業所	2022年度実績 (2022.4～2023.3)	2023年度 (2023.4～2024.3)	2024年度 (2024.4～2025.3)	2025年度 (2025.4～2026.3)	
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	営業所	95,106	94,150 (▲1.0%)	93,200 (▲2.0%)	92,250 (▲3.0%)	
		事務所	5,768	5,710 (▲1.0%)	5,650 (▲2.0%)	5,590 (▲3.0%)	
	・電気使用量の削減	kWh	営業所	13,974	13,900 (▲0.5%)	13,830 (▲1.0%)	13,760 (▲1.5%)
			事務所	13,200	13,130 (▲0.5%)	13,060 (▲1.0%)	13,000 (▲1.5%)
	・ガソリン使用量の削減（原単位）	L/走行100 km当り	営業所	10.55	10.44 (▲1.0%)	10.33 (▲2.0%)	10.22 (▲3.0%)
			事務所	9.17	9.08 (▲1.0%)	8.98 (▲2.0%)	8.89 (▲3.0%)
・軽油使用量の削減（原単位）	L/回数 [※]	営業所	4.08	4.03 (▲1.0%)	3.99 (▲2.0%)	3.95 (▲3.0%)	
2.廃棄物排出量の削減							
：一般廃棄物	kg	営・事	773.0	765.0(▲1.0%)	757.0(▲2.0%)	749.0(▲3.0%)	
・新聞紙	kg	事務所	123.8	122.0 (▲1.0%)	121.0 (▲2.0%)	120.0 (▲3.0%)	
・その他紙類（古紙含む）	kg	営・事	138.2	136.0 (▲1.0%)	135.0 (▲2.0%)	134.0 (▲3.0%)	
・カン・ペットボトル	kg	営・事	9.7	9.6 (▲1.0%)	9.5 (▲2.0%)	9.4 (▲3.0%)	
・その他可燃ごみ	kg	営業所	366.7	363.0 (▲1.0%)	359.0 (▲2.0%)	355.0 (▲3.0%)	
		事務所	117.5	116.0 (▲1.0%)	115.0 (▲2.0%)	113.0 (▲3.0%)	
・その他不燃ごみ	kg	営・事	17.1	16.9 (▲1.0%)	16.7 (▲2.0%)	16.5 (▲3.0%)	
産業 廃棄物	kg	営業所	[400.0]	適正に処分	適正に処分	適正に処分	
3.水使用量（上水）の削減	m ³	営業所	313.0	309.0 (▲1.0%)	306.0 (▲2.0%)	303.0 (▲3.0%)	
		事務所	54.0	53.4 (▲1.0%)	52.9 (▲2.0%)	52.3 (▲3.0%)	
4.グリーン購入の推進	-	事務所	-	事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する			
5.収集作業における完全収集の徹底	-	営業所	-	収集運搬時の事故防止・収集ミミ防止・ごみ飛散防止に努める			

備考 ・()%は、2022年度実績をベースとして削減率を示す。

・二酸化炭素排出量の購入電力排出係数は、九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.392kg-CO₂/kWh)を適用。

・自社活動で化学物質は使用していないので、目標から除外した。

※回数：清掃工場への搬入回数

4.環境経営計画

●2024年度は、環境経営目標を達成するため、以下の環境活動に取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減 (取組目標と活動項目)	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
(1) 電気使用量の削減		
① 定めた室温を超えないようエアコンの温度管理を実行する	事務部担当	291
② 照明の適正化、スイッチの適正管理を行う		280
③ パソコンの電源管理を行う		280
④ エレベーターの適正使用を徹底する		
⑤ 太陽光発電の管理・記録		280
(2) ガソリン使用量・軽油使用量の削減		
① 車両の点検整備の徹底管理を行う	環境管理 責任者	収集運搬部 担当
② 運転方法の適正化、エコドライブの実行		
③ EMS機能付ドライブレコーダーの管理(エコドライブ・安全運転)		
④ 車両の買い替え	環境管理責任者	
2. 廃棄物排出量の削減 (取組目標と活動項目)	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
① コピー用紙の両面使用を徹底する	事務部担当	279
② 廃棄物の分別の徹底		283
③ 新聞紙、段ボールなどのリサイクル		283
④ 汚泥は、適正な手続きで年4回処分		
3. 水使用量(上水)の削減 (取組目標と活動項目)	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
① 洗車時における節水活動		282
② 手洗い場など、閉め忘れ等の確認をする	事務部担当	281
③ 雨水の積極的利用(洗車・散水等)		281
4. グリーン購入の推進	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
① 事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する	事務部担当	
5. 収集作業における完全収集の徹底	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
① 車両の事故防止	環境管理 責任者	収集運搬部 担当
② 収集ミスの低減(ドライブレコーダー確認)		
③ カラス等ごみ飛散の掃除(ドライブレコーダー確認)		

備考・収集運搬部は原田営業所(活動項目責任者はチーム)で、チーム名(車両番号)は279,282,283,291,281,280

5.環境経営計画に基づき実施した取組内容

●2024年度は、環境経営計画に基づき、以下の環境活動に取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減 (活動項目写真)

(1) 電気使用量の削減



・エアコンの温度設定



・照明の適正化



エアコンファン設置
(本社)



パソコンの電源管理
(営業所)



(2) ガソリン使用量・軽油使用量の削減 (活動項目写真)



・エコドライブの推進



・軽油使用量の削減活動 掲示資料



2. 廃棄物排出量の削減 (活動項目写真)



・原田営業所廃棄物置き場



・本社廃棄物置き場



3. 水使用量 (上水) の削減 (活動項目写真)



・節水活動



雨水の積極的使用 (原田営業所)



4. グリーン購入の推進 (活動項目写真)



- ・グリーン購入商品の優先購入 (本社)



5. 収集作業における完全収集の徹底 (活動項目写真)



- ・カラスによる散乱苦情

- ・ドライブレコーダーにて確認



6.環境経営目標の実績とその評価

- 当社は、アクション21に基づく環境経営システムを構築し、2007年度から環境活動に取り組んできました。
- 2024年度の環境経営目標の達成状況は以下の通りです。

(年度:4月～翌年3月)

環境項目	単位	事業所	2022年度	2024年度		目標達成率	達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	営業所	95,106	93,200	91,204	102.1%	○
		事務所	5,768	5,650	6,280	88.8%	×
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	営業所・事務所	773.0	757.0	977.2	70.9%	×
	産業廃棄物	営業所	適正に処分した	適正に処分	適正に処分した	-	○
3.水使用量(上水)の削減	m ³	営業所	313.0	306.0	275.0	110.1%	○
		事務所	54.0	52.9	47.0	111.2%	○
4.グリーン購入の推進		事務所	事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する				◎
5.収集作業における完全収集の徹底		営業所	収集運搬時の事故防止・収集ミ防止・ごみ飛散防止に努める				×

達成判定 1.2.3 ◎:達成率120%以上 ○:達成率100%以上120%未満 △:達成率95%以上100%未満 ×:達成率95%未満
達成判定 4.5 ◎:12ヶ月の評価で◎が80%以上 ○:◎が60%以上80%未満 △:◎が50%以上60%未満 ×:◎が50%未満

備考・2022年度実績をベースとして2024年度目標設定

・購入電力の排出係数は、九州電力㈱の2021年度の調整後排出係数(0.392kg-CO₂/kWh)を適用

1.二酸化炭素排出量の削減

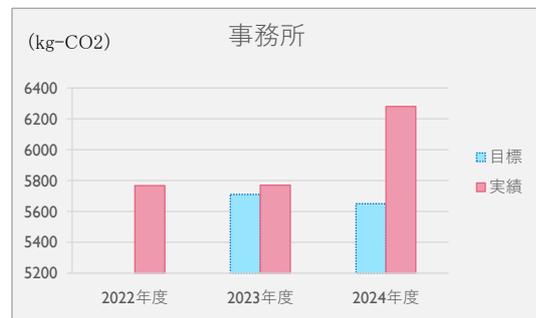
(年度:4月～翌年3月)

環境経営目標	単位	事業所	2022年度	2024年度		目標達成率	達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績		
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	営業所	95,106	93,200	91,204	102.1%	○
		事務所	5,768	5,650	6,280	88.8%	×
・電気使用量の削減	kWh	営業所	13,974	13,830	13,499	102.4%	○
	kWh	事務所	13,200	13,060	13,417	97.3%	△
・ガソリン使用量の削減(原単位)	L/走行100km当り	営業所	10.55	10.33	11.41	89.5%	×
	L/走行100km当り	事務所	9.17	8.98	8.94	100.4%	○
・軽油使用量の削減(原単位)	L/回数※	営業所	4.08	3.99	3.89	102.5%	○

達成判定 ◎:達成率120%以上 ○:達成率100%以上120%未満 △:達成率95%以上100%未満 ×:達成率95%未満

※回数:清掃工場への搬入回数

CO₂排出量の目標と実績



■二酸化炭素排出量の削減は、営業所は目標 [○] 事務所は目標 [×]

- ・電気使用量の削減 営業所は目標 [○] 事務所は目標 [△]

電気使用量の基準年度比は営業所-3.4%、事務所1.6%

エアコンの設定温度は室温28°Cに調整

(増加の要因)

- ・事務所は業務の関係でエアコンの使用時間が長くなったのが影響

- ・ガソリン使用量の削減 営業所は目標 [×] 事務所は目標 [○]

あい路での使用頻度が増えました。短い距離の発車、停止の繰り返しで燃費悪化

- ・軽油使用量の削減 営業所は目標 [○]

当社の二酸化炭素排出量の86.4%を占めている軽油を削減。

運転方法の適正化、エコドライブの徹底。ドライブレコーダーの安全運転日報の確認の徹底

軽油使用量削減のため、エコドライブの徹底(優しい発進、急発進・急減速を行わない運転など)、タイヤの空気圧のチェック、タイヤはすべてエコタイヤ装着、タイヤの定期点検、運転員各自に燃費の把握の徹底(車両ごとの燃費グラフの提示・軽油使用額の比較)などの対応を行っています。 7

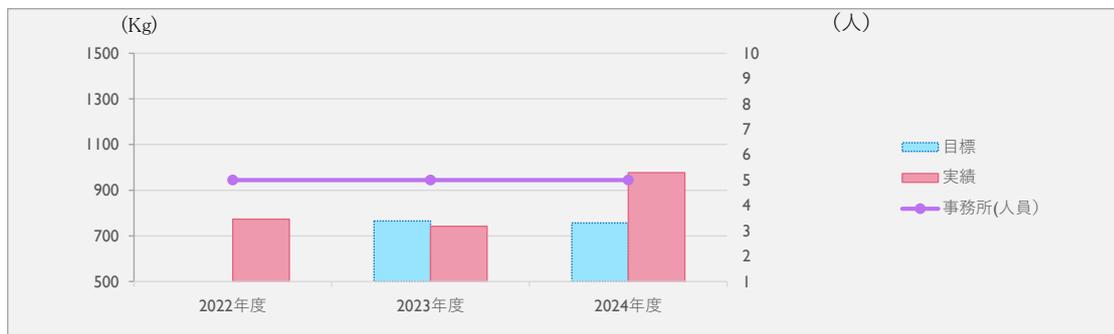
2. 廃棄物排出量の削減

(年度:4月～翌年3月)

環境経営目標	単位	事業所	2022年度	2024年度		目標達成率	達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績		
廃棄物排出量の削減							
：一般廃棄物	kg	営業所・事務所	773.0	757.0	977.2	70.9%	×
・新聞紙	kg	事務所	123.8	121.0	116.6	103.6%	○
・その他紙類(古紙含む)	kg	営業所・事務所	138.2	135.0	392.3	-90.6%	×
・かん・ペットボトル	kg	営業所・事務所	9.7	9.5	9.5	100.0%	○
・その他可燃ごみ	kg	営業所	366.7	359.0	323.0	110.0%	○
	kg	事務所	117.5	115.0	119.9	95.7%	△
・その他不燃ごみ	kg	営業所・事務所	17.1	16.7	15.9	104.8%	○
：産業廃棄物	kg	営業所	(400.0)	適正に処分	適正に処分した(400.0)	-	-

達成判定 ◎：達成率120%以上 ○：達成率100%以上120%未満 △：達成率95%以上100%未満 ×：達成率95%未満

廃棄物排出量の目標と実績(事業所：営業所・事務所)



■廃棄物排出量の削減は、目標 [×]

主な廃棄物の内容			
・新聞紙	⇒	(再生利用)	⇒ 朝刊・夕刊2社
・その他紙類	⇒	(再生利用)	⇒ 古紙、シュレッダーごみ、ダンボールなど
・かん・ペットボトル	⇒	(再生利用)	⇒ 従業員の飲料など
・その他可燃ごみ	⇒	(熱回収)	⇒ 除草、作業着処分など
・その他不燃ごみ	⇒	(再資源化等)	⇒ スプレー缶、WAX缶など

- ・上記廃棄物や、かん・ペットボトルなどの廃棄物は、2015年度より期毎に月を決め定期処理を行っています。
- ・その他紙類が大幅に増加。2013年までの古い書類を2024年10月にシュレッダー処分(280kg)
- ・汚泥は年4回、適正に処分しています。

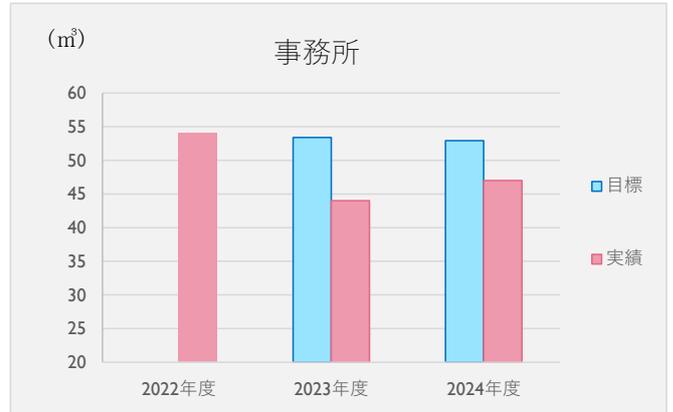
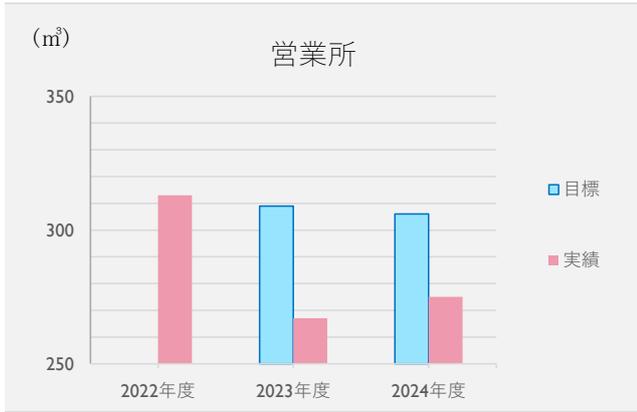
3. 水使用量（上水）の削減

(年度:4月～翌年3月)

環境経営目標	単位	事業所	2022年度	2024年度		目標達成率	達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績		
水使用量(上水)の削減	m ³	営業所	313.0	306.0	275.0	110.1%	○
		事務所	54.0	52.9	47.0	111.2%	○

達成判定 ◎:達成率120%以上 ○:達成率100%以上120%未満 △:達成率95%以上100%未満 ×:達成率95%未満

水使用量（上水）の目標と実績



■水使用量（上水）の削減は、営業所は目標 [○]、事務所は目標 [○]

- ・営業所：主な水使用は洗車で、家庭系可燃性ごみ収集車ですので、衛生上丁寧な洗車を心がけています。
(雨水を積極的に使用：車庫の地下に容量58.5m³の雨水貯水槽を設置)
洗車には市水と雨水を利用しています。
雨水使用量：2022年度199m³、2023年度199m³、2024年度214m³
- ・事務所：主な水使用は、掃除など。
2025年度も節水に励みます。

4. グリーン購入の推進（事務用品）

(年度:4月～翌年3月)

環境経営目標	単位	事業所	2022年度	2024年度		達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績	
グリーン購入の推進(事務用品)		事務所	-	事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する	可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入しています。	◎

達成判定 ◎:12ヶ月の評価で◎が80%以上 ○:◎が60%以上80%未満 △:◎が50%以上60%未満 ×:◎が50%未満

- ・今後も可能な限りグリーン購入商品を優先して購入します。

5. 収集作業における完全収集の徹底

(年度:4月～翌年3月)

環境経営目標	単位	事業所	2022年度	2024年度		達成判定
			実績(基準年度)	目標	実績	
収集作業における完全収集の徹底		営業所	-	収集運搬時の事故防止・収集ミス防止・ごみ飛散防止に努める	12のポイントで9か所 [×]	×

達成判定 ◎:12ヶ月の評価で◎が80%以上 ○:◎が60%以上80%未満 △:◎が50%以上60%未満 ×:◎が50%未満

- ・タイヤ止め忘れが5/27、10/8と2件ありました。重大な事故につながります。
2度同じことを起こさないよう再発防止策を講じてください。
- ・同じようなミスが繰り返されています。その都度再発防止策を講じているにも拘わらず再発しています。
ひとりひとりが問題意識をもって完全収集に努めてください。

7.環境経営計画の取組結果とその評価

●環境経営計画の取組状況は以下の通りです。

1.二酸化炭素排出量の削減

取組目標	達成状況		活動項目	実施状況	結果と評価
	営業所	事務所			
(1) 電気使用量の削減	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定めた室温を超えないようエアコンの温度管理を実行する ・ 照明の適正化、スイッチの適正管理を行う ・ パソコンの電源管理を行う ・ エレベーターの適正使用を徹底する ・ 太陽光発電の管理・記録 	○	電気使用量の基準年度比は、営業所-3.4%、事務所1.6%でした。エアコンの設定温度は室温28℃に調整しています。事務所は業務の関係でエアコンの使用時間が長くなったのが影響していると思われます。照明、スイッチの適正管理はきちんとされています。
(2) ガソリン使用量の削減	×	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の点検整備の徹底管理を行う ・ 運転方法の適正化、エコドライブの実行 	○	あい路での使用頻度が増えました。短い距離の発車、停止の繰り返して燃費が悪くなります。エコドライブを徹底してください。
軽油使用量の削減	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ EMS機能付ドライブレコーダーの管理(エコドライブ・安全運転) ・ 車両の買い替え 	○	エコドライブがきちんとされています。今後も安全運転を優先し、優しい運転をしてください。

達成状況の評価 ◎：達成率120%以上 ○：達成率100%以上120%未満 △：達成率95%以上100%未満 ×：達成率95%未満

実施状況の評価 ◎：よく実行できている ○：実行できている ×：実行できていない

※太陽光→2009年度より導入しているが、蓄電していない為2012年度よりエネルギー使用量には掲載しない事とした。

2.廃棄物排出量の削減

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1) 一般廃棄物排出量の削減	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙の両面使用を徹底する ・ 廃棄物の分別の徹底 ・ 新聞紙、段ボールなどのリサイクル 	○	廃棄物の分別や新聞紙・段ボールなどのリサイクルも適正に処理されています。その他紙類は10月に古い書類280kgの処分が影響しました。
(2) 産業廃棄物の適正処理	○	・ 汚泥は、適正な手続きで年4回処分	◎	適正に処理されています。

達成状況の評価 ◎：達成率120%以上 ○：達成率100%以上120%未満 △：達成率95%以上100%未満 ×：達成率95%未満

実施状況の評価 ◎：よく実行できている ○：実行できている ×：実行できていない

3.水使用量（上水）の削減

取組目標	達成状況		活動項目	実施状況	結果と評価
	営業所	事務所			
(1) 水使用量（上水）の削減	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車時における節水活動 ・ 手洗い場など、閉め忘れ等の確認をする ・ 雨水の積極的利用（洗車・散水等） 	◎	今年度は、営業所・事務所ともに約-12%の水使用量の削減が出来ました。次年度もこの調子で節水活動に励んでください。

達成状況の評価 ◎：達成率120%以上 ○：達成率100%以上120%未満 △：達成率95%以上100%未満 ×：達成率95%未満

実施状況の評価 ◎：よく実行できている ○：実行できている ×：実行できていない

※雨水→2009年度より導入

4.グリーン購入の推進（事務用品）

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1) グリーン購入の推進（事務用品）	◎	・ 事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する	◎	可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入されています。

達成・実施状況の評価 ◎：12ヶ月の評価で◎が80%以上 ○：◎が60%以上80%未満 △：◎が50%以上60%未満 ×：◎が50%未満

5.収集作業における完全収集の徹底

取組目標	達成状況	活動項目	実施状況	結果と評価
(1) 収集作業における完全収集の徹底	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の事故防止 ・ 収集ミスの低減(ドライブレコーダー確認) ・ カラス等ごみ飛散の掃除(ドライブレコーダー確認) 	×	今期も不注意が多いようです。タイヤ止め置き忘れ2回あり、重大事故につながります。ごみ未収や軽微な車両破損多発しました。急がず、慌てず、ていねいな作業を心がけて下さい。

達成・実施状況の評価 ◎：12ヶ月の評価で◎が80%以上 ○：◎が60%以上80%未満 △：◎が50%以上60%未満 ×：◎が50%未満

8.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8-1 次年度の環境経営目標

- 2022年度実績を基準年度として、3.0%ずつ（電気使用量は1.5%）削減することを目標とします。

8-2 次年度の環境経営計画

- 2025年度は、環境経営目標を達成するため、以下の環境活動に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減（取組目標と活動項目）	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
(1) 電気使用量の削減		
①定めた室温を超えないようエアコンの温度管理を実行する	事務部担当	291
②照明の適正化、スイッチの適正管理を行う		280
③パソコンの電源管理を行う		280
④エレベーターの適正使用を徹底する		
⑤太陽光発電の管理・記録		280
(2) ガソリン使用量・軽油使用量の削減		
①車両の点検整備の徹底管理を行う	環境管理 責任者	収集運搬部 担当
②運転方法の適正化、エコドライブの実行		
③EMS機能付トライブレコーダーの管理(エコドライブ・安全運転)		
④車両の買い替え	環境管理責任者	
2. 廃棄物排出量の削減（取組目標と活動項目）	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
①コピー用紙の両面使用を徹底する	事務部担当	279
②廃棄物の分別の徹底		283
③新聞紙、段ボールなどのリサイクル		283
④汚泥は、適正な手続きで年4回処分		
3. 水使用量（上水）の削減（取組目標と活動項目）	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
①洗車時における節水活動		282
②手洗い場など、閉め忘れ等の確認をする	事務部担当	281
③雨水の積極的利用(洗車・散水等)		281
4. グリーン購入の推進	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
①事務用品購入の際、可能な限りグリーン購入商品を優先的に購入する	事務部担当	
5. 収集作業における完全収集の徹底	担当者	
	本社事務部	収集運搬部
①車両の事故防止	環境管理 責任者	収集運搬部 担当
②収集ミスの低減（ドライブレコーダー確認）		
③カラス等ごみ飛散の掃除（ドライブレコーダー確認）		

備考・収集運搬部は原田営業所(活動項目責任者はチーム)で、チーム名(車両番号)は279,282,283,291,281,280

9.環境関連法規への違反、訴訟などの有無

当事業所に適用される下記の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法律名	法令条項	遵守事項	遵守状況の確認結果
福岡市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	第32条第1項	施設及び器材の検査	○
廃棄物処理法	則第2条	許可を要しない者	○
	法第6条の2第2項 令第3条第1項のイ、ロ、ハ	収集基準	○
	第12条第2項 則第8条	保管基準の遵守	○
	第12条第5項	許可業者への委託	○
	第12条第6項 令第6条の2 則第8条の4、4の2、4の3	委託基準の遵守	○
	第12条の3第1項、 第2項、第8項 則第8条の20・21、26、28・29	管理票(マニフェスト票)の交付	○
	第12条の3第7項 則第8条の27	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	○
フロン排出抑制法	第16条	簡易点検	○
	第41条 第74条	フロン類の廃棄	-
	第74条第1項	車両等の安全な運転の遵守	○
道路交通法	第74条第1項	車両等の安全な運転の遵守	○
消防法	第9条の4	指定数量未満の危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取り扱いの基準	○
自動車リサイクル法	法第8条	使用済自動車の引渡義務	-
	法第73条	再資源化預託金等の預託義務	○
家電リサイクル法	法第6条	排出事業者及び消費者の責務	-

判定区分 ○：遵守 ×：不遵守 -：該当なし

10.代表者による全体の評価と見直し・指示

評価

本年度は営業所： 二酸化炭素排出量、水使用量(上水)は環境経営目標を達成できましたが、廃棄物排出量が達成できませんでした。

事務所： 水使用量(上水)は環境経営目標を達成できましたが、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量が達成できませんでした。

〈今後の方針〉

2026年度2月より、プラスチック収集が始まります。

新たな収集ルート作成など、準備していきましょう。

安全、衛生管理を最優先し、完全収集を目指してください。

エコドライブ(経済運転)の徹底。車両整備を確実に。タイヤ管理の徹底。

慌てず急がず優しい運転の実行。安全運転日報の確認。

運転員各自の燃費の把握の徹底(号車毎に燃費グラフ提示)に加え使用額の提示。

猛暑によるエアコンの使用量が増えているようです。

熱中症対策をしつつ電気使用量が増えないようエコ活動を行ってください。

見直し・指示

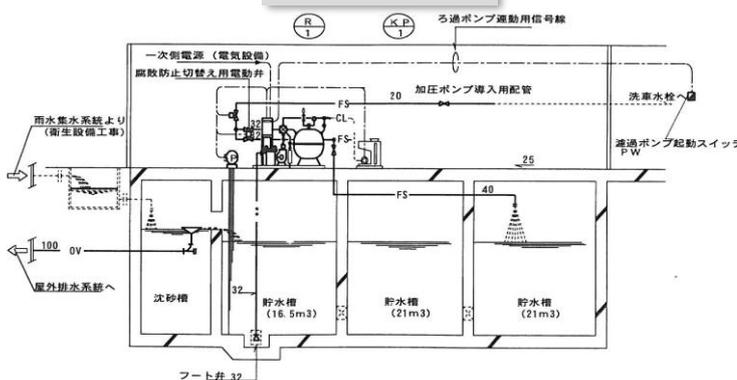
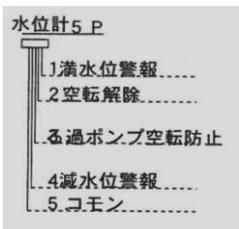
- 環境経営方針 変更なし、指示なし
- 環境経営目標 変更なし、指示なし
- 環境経営計画 変更なし、指示なし

11.その他(雨水利用など)

■車両の洗車などに市水道と併用して雨水を利用しています。

原田営業所 車庫の地下に雨水貯水槽を設置。(容量58.5m³)

【雨水設備】



↓ 雨水を沈砂槽へ



雨水ろ過機内部



↓ 沈砂槽から貯水槽①へ



ろ過機から貯水槽③へ



貯水槽① 雨水ろ過機へ

貯水槽③→洗車水栓へ

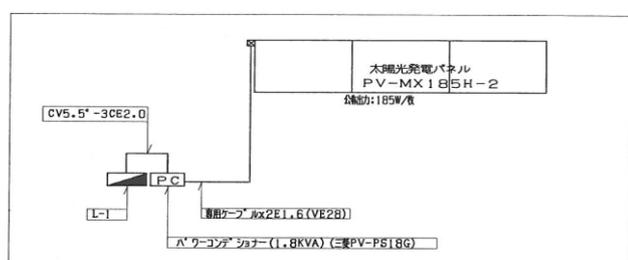


洗車には雨水を積極的に使用

水栓の閉め忘れ確認の徹底

一般家庭可燃ごみ収集車のため、毎日洗車

■太陽光発電パネル設置 定格出力1.8kw



12. 苦情(カラス被害)

- ・住民からの苦情
 - カラスによるごみの散乱に困っている。
 - 収集時間を変更してほしい。もっと早い時間帯に収集を！
- ・苦情に対する対策
 - 全収集車両に無線連絡を行い、協力しあい被害拡大防止に努めている。
 - 協力できる車両での収集後、担当車両による現地確認。
 - 収集ルートへの微調整



13. ルール違反ごみによる取残し

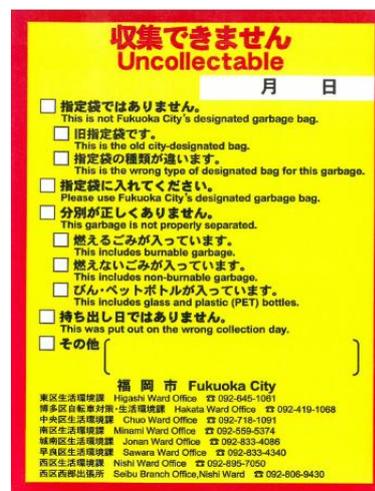
当社は可燃ごみを収集します。

「きちんと分別しましょう」

- ・分別ルールを守らずにごみを出した場合は、警告シールを貼って取残します。
- ・ごみを指定袋に入れず、指定袋を貼り付けて出している違反ごみも警告シールを貼って取残します。



きちんと分別されていない家庭ごみ
ガスボンベ、ペットボトル混入



14.車載AED・AED講習

NEW !!



- 2024年度より収集車にAEDを搭載しました。
また、定期的にAED講習を実施しています。

●車載AED

- ・従業員の突然の病気・事故に備えて。
- ・地域の安心のため。

月1回点検を行っています。



●AED講習

- ・いざという時に対処できるよう講習を行っています。

講師は応急手当普及員（福岡市消防局認定）の資格を持つ従業員が担当。

